



※ パンネーム:めいみ

2025(令和7)年2月1日発行 第130号

伊深まちづくり協議会
ホームページ

<https://ibuka-machizukuri.com/>

【公式】Instagram
ibuka_machizukuri

ギャラリー伊深【公式】Instagram
gallery_ibuka



IBUKA_MACHIZUKURI

「ギャラリー伊深」展示のご案内

伊深交流センターの入口正面に「ギャラリー伊深」があります。

これまでも、伊深在住の皆さんの写真や絵画、書道教室や編物教室の作品の展示など様々な分野の展示を行ってきましたので、ご覧になられた人も多いかと思います。



現在は、「市川美幸 写真展」と、「遠山勝彦 木作品展」を行っています。
(※いずれも2月21日までの予定)

市川美幸さんは、ギャラリー伊深の代表を務めてみえる、伊深在住の写真家です。

これまでも IBUCAL 等で撮影会や写真の展示をされています。特に、人物写真ではその人のいきいきとした表情や、日常のさりげない表情からも、人柄まで写し出す温かな視点や表現技法に魅了されます。



遠山勝彦さん ツバキラボ代表 和田賢治さん

小学校の児童を撮影した写真で使用しているフレームは、旧 JA 前にあったセンダンの木からツバキラボさんに製作していただいたものです。

遠山勝彦さんは伊深在住で、岐阜市のツバキラボ開設時からの会員です。現在は IBUCAL で木作品づくりに取り組んでみえます。

カップやお皿類に加え、ランプシェード等多種の作品を作ってみえます。

今年のお正月のおせち料理は、自作のお重に盛り付けられたとのこと。



この機会に是非ご来場いただき、市川さんの写真作品と、遠山さんの木作品を楽しんでください。



報告

年越しそば講習会を開催しました



大晦日に年越しそばを食べるのは、一年を締めくくる年の瀬の風物詩。細く、長く幸せに暮らせるようにと祈りを込めていただきます。そのおそばを自分で打ってみようと「年越しそば講習会」を12月30日に開催しました。そば打ちに初めて挑戦する人や、過去に何度も参加してベテランの域に達している人など、年齢層も子どもから高齢者まで幅広く、計27人が参加しました。

講習会は午前9時から始まり、30分単位で実施しました。井上美恵子そば打ち名人から、丁寧に打ち方を教えていただき、粉に水を加えて混ぜるところから、たちまちそば粉の良い香りがたちのぼり、気分も上がります。

粉をひとかたまりにして、麺棒でのばし、生地を折りたたんで切って完成(同じようにやっても差が生まれるのが難しいところ)。

参加者の多くが「楽しかった」と満足して下さり、3~5人前を打ち持ち帰られました。



報告

里山ないわい塾のお手伝いをしました

1月18日に、市まちづくり課が主催する里山なりわい塾の第3回目が開催され、「里山の食文化」をテーマに当協議会が全面的にお手伝いしました。

主食材となる里芋の収穫から始まり、天王用水を活用した水車式の芋洗い器の様子を見学。場所を交流センターに移して、里芋づくりの献立を受講生の皆さんと一緒に調理していただきながら、伊深での素朴な食文化を提供することができました。献立は「里芋ぼち(あんこ・きな粉)」「けんちん汁」「里芋の柚子味噌煮」「白和え」「赤カブの漬物」「干し柿」でした。大量の里芋調理でしたが、受講生の頑張りがあり、片付けまでサクサクと終え、楽しい時間を過ごすことができました。



今後の予定

- 2月・3月に以下の事業を実施する予定で進める(一部協力する)ことにしました。
 - ・2月2日 凧あげ大会(ぜんざいのふるまい有り)
 - ・2月8日 視察研修会(美濃市:手すき和紙工房)
 - ・2月22日 IBUCAL 原木しいたけ菌打ち体験
 - ・3月2日 ウォークみのかも:伊深編(市スポーツ振興課、健康課主催)

生活の中で、何かお困りごとはありませんか？

ごみだしなど、ちょっとしたことならお手伝いさせていただきます。遠慮なく、各地区の「(ちよっとたのむ輪)連絡員」または下記にご相談ください。
080-1561-4013



伊深まちづくり協議会だより 第130号

2025. 2. 1発行 (毎月1回1日発行)

発行責任者 伊深まちづくり協議会 会長 小林 喜典

事務局 美濃加茂市伊深町927-1

伊深交流センター内

電話 0574-29-1395 FAX 0574-29-0001

※ ご意見・お問い合わせもこちらまで

